



しおかぜ通信

八代市立郡築小学校
校長 村嶋 博史



学校教育目標「自ら学ぶ子供」 R7,12,11 No.29

危険予測能力を身に付けよう

先日、全校集会を開き、「危険予測能力の育成」をねらったプレゼンテーションをしました。これは、再三の指導にもかかわらず校内での怪我が増えていることから、子供たち自身に危険を予測する能力を養おうと実施したものです。

生徒指導の担当者が、スライドを使って場面毎の危険を予測させながら、どう行動すべきかなどを考えさせていきました。これを機に、子供たち自身がリスクを未然に防ぎ、事故（怪我）が減ることを願っています。

また、併せて投石など物を投げる行為や子供だけの水辺での遊びについても、大怪我や命に関わる恐れがあるので、絶対にしてはいけない行為であると確認しました。



人権同和授業研究会を行いました

先日、「Aブロック人権同和教育授業研究会」を本校で開催しました。当日は、第一中学校、第七中学校、代陽小学校、松高小学校、八代小学校、八代支援学校から教職員約40人が、1年1組、3年1組、5年1組の授業を参観し、放課後の授業研究会に参加されました。

授業研究会では、先生方の実践の紹介や意見交換を通して、明日からの教育活動に生かせるヒントをたくさん得ることができました。このことは、子供たちが安心して学び、自分らしく過ごせる学校づくりに必ず繋がっていきます。

全校集会（校長講話）を行いました

先日、今年度5回目の全校集会（校長講話）を行いました。

今回は、人権月間にちなんで、「天国と地獄の長い箸」という物語をもとに、「自分のことのみならず、相手を思いやる心と態度をもつことの大事さ」についてプレゼンテーションしました。

子供たちは、この1ヶ月間、各学級で学んだ人権問題学習も含めて、「人権を守る」ことの大切さについて大いに学び、「何が善いことで、何が悪いことか」「どういう場面で、どういう言動をとるべきか」などを理解したことと思います。それをみんなが表現することで、「誰にとっても明るく楽しい郡築小学校」を実現してほしいと思います。



「情報モラル教育」及び「情報モラル講座」を行いました

先日、授業参観後に、児童を対象とした「情報モラル教育」と、保護者の方々を対象とした「情報モラル講座」（PTA主催の家庭教育学級）を並行して行いました。

スマートフォンなどが普及し、子供たちがインターネットと接する機会が増えている中、安易な書込みがもとでいじめやトラブルが起きたり、つきまといやわいせつ事件などの犯罪に利用されたりする事例も出ています。本校で起きているいじめ（トラブル）の多くもSNSを介しています。

また、このSNSを介したいじめ（トラブル）や事件は、これまでのそれとは違って、24時間いつでも、どこに居ても起こり得ます。そういう恐怖から子

供たちを守るためにこの取組を行いました。

体育館で行った「情報モラル講座」では、熊本県八代教育事務所 指導主事 瀧川 尚樹 様においでいただき、「インターネットの世界から子供たちを守るために～ SNS の危険性と使い方～」をテーマにお話いただきました。参加された55名の保護者の方の感想の中に、「知っているようで知らなかったことが分かり勉強になった」や「親としての覚悟と責任を持たなきゃいけないと感じた」などがあり、有意義な講話であったことがうかがえました。

各教室で行った「情報モラル教育」では、各学年の子供たちの実態にあった教材を活用し、「何が、どうしていけないのか」や「どう活用すればよいのか」、「どう対処すればよいのか」などについて考えさせる中で、自己指導能力を育てる指導を行いました。